

令和7年度在宅医療(栄養)推進事業
在宅栄養ケア総合研修会

栄養情報連携に期待すること

～医師の視点～

新潟大学院医歯学総合研究科
地域医療確保・地域医療課題解決支援講座
地域医療分野
新潟県医師会 理事 井口 清太郎

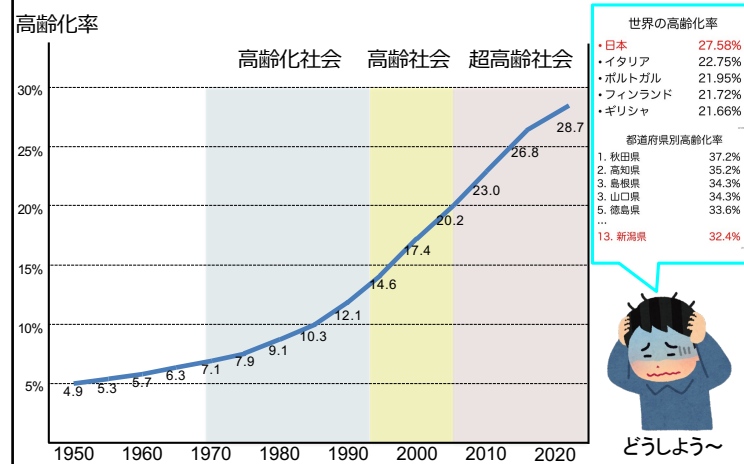
1

今日の話の内容

- 患者さんの辿る道
 - － 病院完結型医療から地域完結型医療へ
- 栄養状態が健康に及ぼす影響
 - － 低栄養は総死亡率を上げる
- フレイル
 - － 栄養が障害されて、最後に身体に来る
- 期待される栄養情報提供書

2

超高齢社会！



3

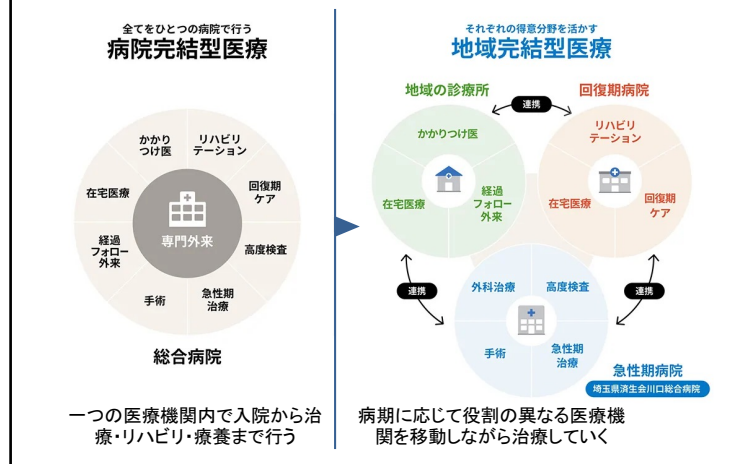
20世紀の医療 vs 21世紀の医療

病院の世紀 → 地域医療の世紀
全てを病院に集約 地域全体で医療を

延命の世紀 → 看取りの世紀
寿命の伸長 限定された時間のQOL

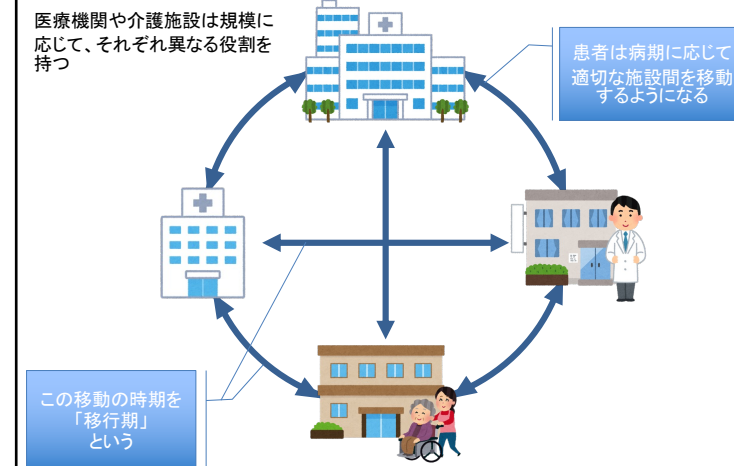
4

病院完結型医療から地域完結型医療へ



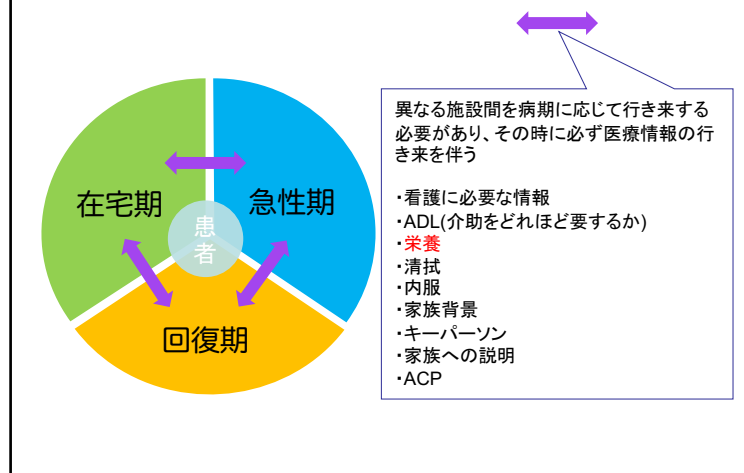
5

地域完結型医療



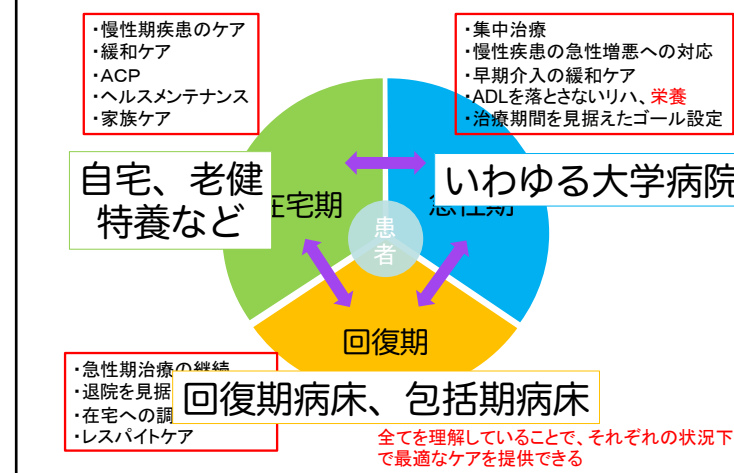
6

患者さんの辿る道（Patient journey）



7

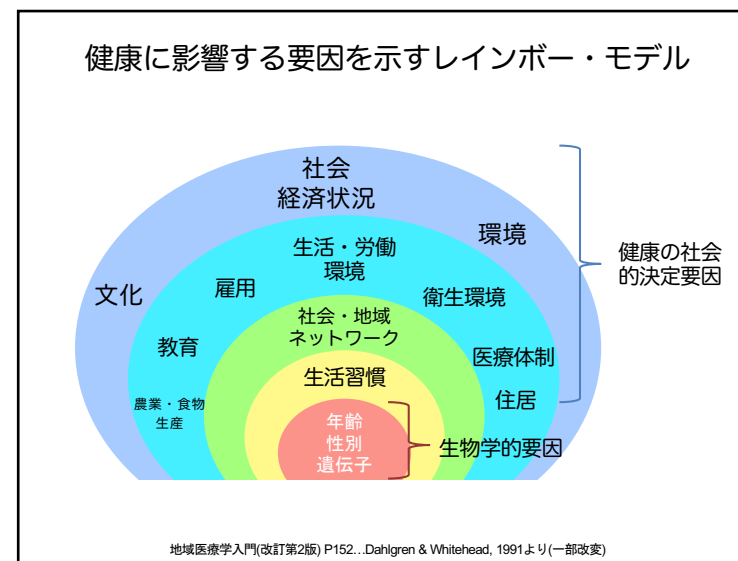
患者さんの辿る道（Patient journey）



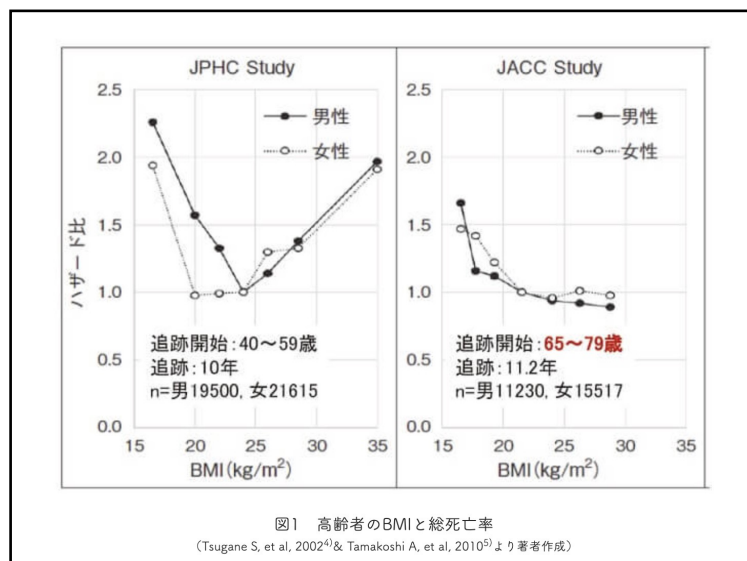
8



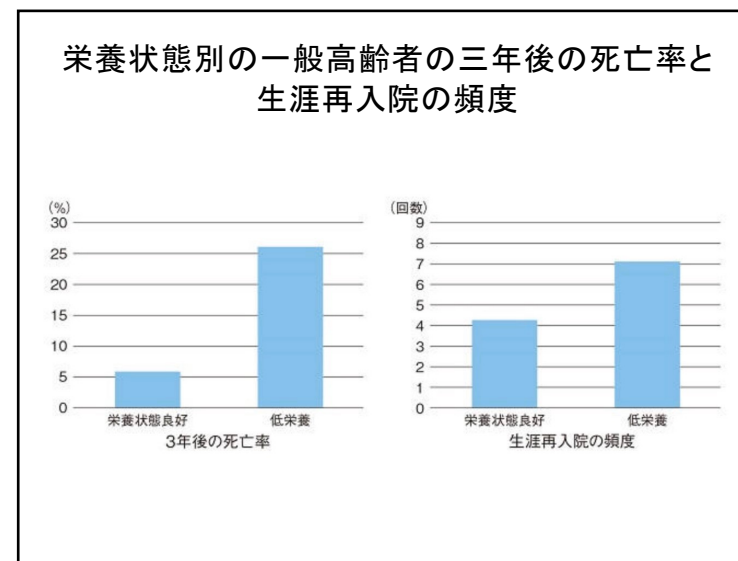
9



10



11



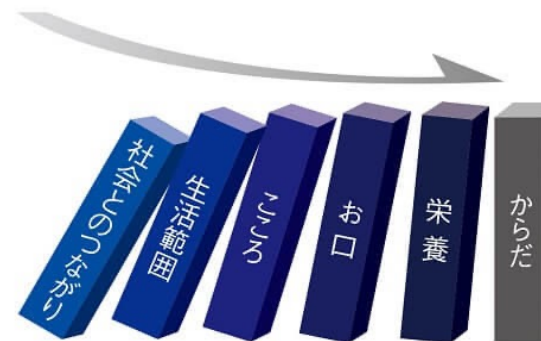
12

フレイル（虚弱）①

- ・ 加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態
- ・ 一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像
- ・ 体重減少や筋力低下などの身体的な変化だけでなく、気力の低下などの精神的な変化や社会的なものも含まれる

13

フレイル（虚弱）②



社会とのつながりを失うことがフレイルの最初の入り口となる

14

フレイル（虚弱）②



そして最終段階ではお口と栄養を損なうことでフレイルに陥っていく

15

フレイル（虚弱）③

- ・ 退職後、職場や社会と離れてしまう...
- ・ 仕事以外の仲間が無い、あるいは少ない
- ・ 外出頻度が減る ← この辺で熟年離婚すると...
- ・ 気持ちが塞ぎ込むようになる
- ・ 身の清潔が維持できなくなる
- ・ 食事が摂りにくくなる
- ・ 身体が弱り、更に外出ができなくなる
- ・ 寝たきりになる

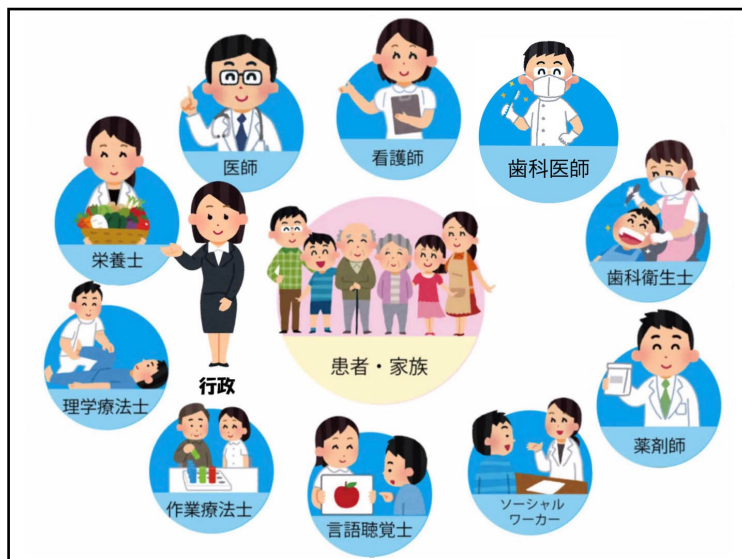
16



引用文献：Cederholm T et al. Clin Nutr. 2019;38(1):1-9

19

工夫が必要！



21

結語

- GLIM基準は、栄養障害の「国際共通言語」として急速に普及しつつあり、日本でも急性期・回復期・在宅を問わず、医師・看護師と栄養士が共通基準で患者を評価するための実践ツールとなりつつある
- 食べることは生きていく上での基本
- 「栄養情報提供書」は、病院と在宅、医療と介護をつなぐ新しい共通言語
- 医師・栄養士・看護・介護が“食べることを支える”という共通目的を持てたとき、地域完結型医療はさらに質を高めることができる

22